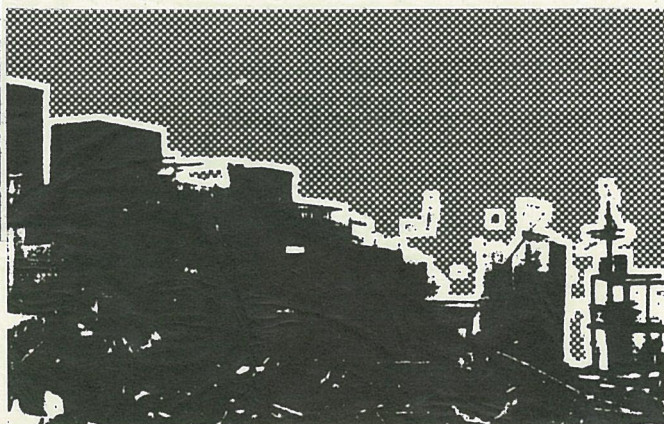
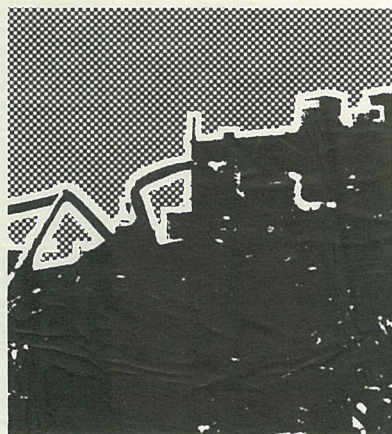


【阪神大震災被災報告書】



震災文庫

12

51



兵庫県ダイカスト工業協同組合

震災文庫 12-51

阪神大震災被災報告書



00095088962

兵庫県ダイカスト工業協同組合

目 次

はじめに	伊藤敬二理事長ご挨拶	4
第 1 部	阪神大震災に対する協同組合としての取り組み	7
第 2 部	被災調査アンケート	15
第 3 部	桜も、せつなかつたやろ ——震災が投げかけたもの	41

はじめに

兵庫ダイカスト工業協同組合

理事長 伊 藤 敬 二

「ドーン、ガタガタ」「わあー」隣のベッドで家内が布団にくるまり小さくなっている。凄い地震だとは分かるが、テレビもラジオも日頃の準備がないのでなんの情報も入手できない。

倒れた物を乗り越え窓をあけベランダに出てみると、真南に2、3箇所、西南の中央区の中心あたりで（後から分かったがこれは灘の六甲町付近の火事でした）5、6箇所から火の手が上がっている。凄絶な姿で火事と言うよりは砲撃により炎上している様な戦場の風景である。朝まだ暗い時間であり、火事の現場とは大分はなれているので状況は分からないが、随分と大変な様子。本社の方向でも何か不気味な感じ。どうなる事か。

これが、平成7年1月17日の私の日記の一部です。9カ月経った今、神戸の街は歯が抜けた街と言うか全く様相の変わった町並み。信号が赤になって車を停める、周囲を見渡して、さてここは何処だったかなと一瞬戸惑うのが毎日の繰り返し。三宮へ出て、懐かしい建物の国際会館、阪急会館等が無くなっている。でもそんなに感傷的にはならないが、身近の変化は何としてでも耐えられない。美代チャンの果物屋は。散髪屋の親爺さん。あの中華の店。馴染みのあれこれの店がみんな無くなっている寂しさは、神戸に住んで60年の歴史であり、自分の一部になっている貴重な存在なのであったからだと思う。

いろんな悲劇があちこちで起きている。何百年に一度の地震でこんな大きな被害が出るなんて。しかも日本では一番安定してると思われている神戸での天災なので、なんで自分達だけがこんなひどい目にあわにゃならんのか、ぼやきが、つい出るのも仕方ない事。

さて遅々として進まないが、復旧神戸は動きかけている。プレハブが、鉄筋の建物が、あちこちに建ち始めました。更地への時期から建築への時期へ。恐らく年末から来年4月頃にかけて更地になった元の場所へ再築の波がどっと押

し寄せるものと思われる。早くそうなって欲しいと神戸っ子の誰もが待ち望んでるのです。

「電話回線も切断されてなかなか連絡がままならない。その中で朝9時頃か、台湾の老朋友の李氏から、9時半にはアメリカの妹から安否の電話が入り、共に涙を流さんばかりに無事を喜んでくれたのには本当に嬉しかった。親戚、ユーザー、友人からのお見舞い電話に感謝をし、長い長いいやな一日を過ごし、更なる大きな余震におびえつつ1月17日の夜11時に寝に就く。」。これがこの呪わしきあの日の地震日記の文末でした。

さて被災し、先ず身内の無事、会社の被害、そして従業員の家・家族の状況をすぐ把握しなければと、子供らと協力し、住んでいた所を調べ、非難しているだろう学校巡りをして、一応翌日には全ての情報を得たものの、余りの従業員の家の全壊の多いのに驚き、自分の立場との違いに、なんて不公平な地震かと嘆き・苦しんだのですが、救済の手を差し伸べるには多すぎる被害に呆然。しかし殆どが、ずれはあったがそれぞれ家族共ども住む所は確保し、社内の整備が済んだ1月末頃には殆ど全員が勤務可能で当社の日数的な損失はあの地震で被った被害の大なる方々に比べたら全く微々たるものだったと思う次第であります。

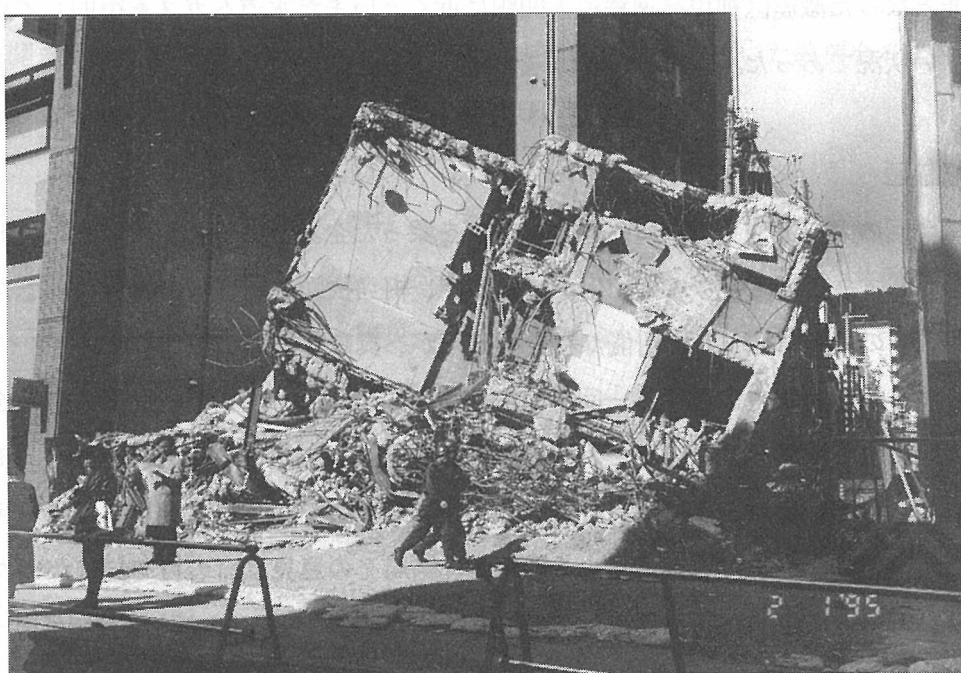
しかし忘れてならない事は、各地の同業の仲間からの暖かい御支援は本当に有難く、御見舞金のみならず、御見舞の電話、仕事でのご援助の申し入れ等々、苦しい時にはどんなにか力強い助っ人となってくれたかと思う時、その御恩にたいしては何で報いねばならないかを肝に銘じて後世にも伝えねばならないと常々考える次第であり、紙上を借りてあつく全国のダイカストの仲間の皆様に御礼を申し上げるものでございます。

この報告書は、事務局より組合事務所の全壊にも拘らず、組合員の被災状況を調査し、私に報告があり、この様なありのままの各社の情報をうる事が出来たのです。貴重なこの資料を埋もらせる事なく、一部の方々に公開する運びとなった次第で、末永く残せる資料として皆さんに役立ち喜んで頂けるものと思っています。

第 一 部

阪神大震災に対する

協同組合としての取り組み



阪神大震災に対する協同組合としての取り組み

1995. 2. 1

新年会開催予定であったが中止。会場の第一楼（中央区江戸町、市役所東側）は震災のため全壊。

2. 14 理事会開催

■組合事務局が全壊したため、理事会開催場所をどこに選定したらよいか、アクセス面も阪神高速は使用不能で復旧の目処も立たず、電車もすべて途中で寸断された状態（JRも神戸－住吉が不通）、各理事会社の所在地のちょうど真ん中、ということで嶋本ダイカスト（株）本社事務所をお借りしての開催となった。しかし当時、兵庫区とりわけ塚本通り周辺は、例の道路陥没により使用不能となった激震区神戸高速鉄道大開駅に近く、いまだ水道もガスも復旧していない状況であった。

■議題

今回の大震災に当組合にも甚大な被害を蒙った企業があったが、いったい組合として、このようなとき、何ができるか、相互扶助というのが組合の理念だが、その精神に照らし、可能な在り方は何か、真摯な討議がなされた。

こういう百年や二百年に一回かの危急存亡の折にこそ、相互扶助の大方針を大胆に打ち出すべきだ、たとえば理事が個人保証して銀行から融資を受け、それをこの際、ほんとうに困窮している小さな規模の組合員にも利用してもらえよう努力すべきだと、主張する理事が、結局その意見は日の目を見なかったが、とても印象的だった。またこの事実は長く記録に残すべきだと事務局は思った。

従来から貯めていた積立金を利用して緊急融資を実施すること。被災にあった組合員に思い切ったお見舞いをする、以上が決まり別紙Aのように連絡された。

半田ダイカスト	8, 0 0 0, 0 0 0
旭洋ダイカスト	1 2, 6 0 0, 0 0 0
片島軽金属	5, 5 0 0, 0 0 0
鵜崎商店	6, 6 3 0, 0 0 0

合計¥ 3 2, 6 3 0, 0 0 0 の貸付実施

3. 1 4 理事会開催

於：嶋本ダイカスト（株）

この日、引き続き、制度融資に関する白熱した議論があったが、結論を得ることはなかった。相互扶助ということに冷静さを失い、あまり過剰に感情的に考えるべきでない、自分の会社のことは自分の力でやることは基本的であり、むしろそのことをこの際だからこそ、見つめるべきだ、という意見も印象深かった。

積立金制度をもう一度復活しようということ、新年会も流れたし、一度例会を開き元気な顔をあわせようと決まった。また各地域から頂いた義援金を公平に分配することが議決された。詳細は別紙B、C、Dの通り。

4. 5 講演会開催

於：ニューオサカホテル

社団法人日本ダイカスト協会、全国ダイカスト工業協同組合連合会共催による、講演会。演題は、「阪神大震災——経験と対策」に、当組合より、伊藤敬二、島本忠和両氏が講師として参加した。

別紙A

平成7年2月15日

組合員各位 殿

緊急ご連絡

拝啓

この度の阪神大震災による被災、こころよりお見舞い申し上げます。
今般緊急理事会を開催し、組合として今、取りあえず何ができるか、という議題で以下のように決まりましたので、至急ご連絡致します。

敬具

記

- 1 災害復旧緊急貸付（2月16日から実施）

貸付限度額	組合に対する積立金の3倍まで
利率及び期間	1年目は無利息。
	2年目は元金据え置き金利のみ支払い、2%。
	3年目からは元金返済開始。但し、返済金額等、別途相談のうえ決める。
- 2 上記貸付にかかわる担当委員に小川芳満氏。
窓口は組合事務局、妹尾（せのお）まで、TEL 974-5069 ご一報下さい。
- 3 被害の甚大な組合員にお見舞い

旭洋ダイカスト	百万円
神港金属	五十万円
神港鍍金	三十万円
鵜崎商店	二十万円させて頂きました。

以上

別紙B

平成7年3月15日

組合員各位 殿

理事会からのご連絡

拝啓

ようやく春めいてまいりました。

早いもので、大震災からもう2ヶ月経過致しました。いまだ街のあちこちには悪夢のような爪痕が色濃く影を残し、ここが痛みますが、ほんのり梅の香りも訪れ、少しは安堵の念を禁じ得ません。「がんばろうや、神戸」とか「We love KOBE」などのコピーが、今ほど強く私達の胸をうつこともなかったのではないのでしょうか。そこで、桜の咲きそろう頃に照準を定め、一献席を設け、先ずは互いの息災を喜び、さらに今なお被災に苦しむ人々のことを思い、幽明境を異にした魂に呼びかけたく存じます。

自粛、自粛とあまりしぱり過ぎても如何と思います。どうぞ万障お繰り合わせの上、ご臨席下さい。

敬具

記

1. 日 時 平成7年4月8日(土) 午後5時より
2. 場 所 寿楼(ことぶきろう)
神戸市須磨区須磨寺3丁目5-18
(078)731-4351
3. 臨時会費 1名 1万円

別紙C

平成7年3月20日

組合員各位 殿

災害復旧緊急貸付の件

拝啓

この度の阪神大震災による被災ところよりお見舞い申し上げます。

過日ご案内申し上げました、災害復旧緊急貸付の件ですが、取りあえず来月末日まで受け付け致しますので、組合事務所までご連絡下さい。

敬具

記

1. 害復旧緊急貸付

実施期間	2月16日から4月30日まで
貸付限度額	組合に対する積立金の3倍以内
利 率	1年目は無利息 2年目は元金据え置き、利息2%のみ支払い 3年目から元金返済開始。金額は別途相談

以上

別紙D

平成7年5月22日

組合員各位殿

拝啓

みどりの美しい季節になりました。今年は大震災に始まり、急激な円高、地下鉄サリン事件、長官狙撃、麻原逮捕等、悪い夢を見ているような出来事が続出しました。そのなかの理事長褒章は泥土のうえに咲く蓮の花のような感じがして、ほっとした次第であります。

さて、この度の震災に際し、全国の同業者のかたがたより義援金が寄せられました。これらの使途に関し、さる3月14日理事会を開催し、組合員に平等に配分する（1社3万円）ことが決まりました。事務手続きで、大幅に通知が遅れましたが、本日発送させていただきます。

また、これもまた大幅に遅れましたが、今回の震災による被災状況を組合員ごとに詳しく調査し、後日の資料にしたいとおもいますのでご協力の程よろしくをお願いを致します。ご多忙のところ恐縮で御座いますが、6月20日までにご回答願います。

敬具

参考

義援金明細

全国ダイカスト（連合会）	360,000
日本ダイカスト（協組）	300,000
関西ダイカスト（協組）	200,000
中部ダイカスト（協組）	164,000
全国中小企業共済財団	100,000
	¥1,124,000
¥1,124,000 / 34社 = 33,058 ≒ 30,000	



第 2 部

被災調査アンケート



平成7年5月22日、下記アンケート用紙を作成、組合員全員に発送。17社から回答を頂きました。4社は、事情があり、事務局がインタビューし、それをあとで目を通して頂き了解のうえ、回答と致しました。

地震当日、就業中という会社が3社ありました。そのなかで、嶋本ダイカスト（株）岩根稔宣氏に直接伺い、当日の、なまなましい、かつ貴重なお話が取材できたことをご報告致します。

おおざっぱに云って、JR兵庫駅周辺、それに灘区、というのが、今回たまたま激震地域に当たり、位置関係がわかるように地図を作成しました。

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

()

機械設備の関係

()

その他(たとえば断水で操業が止まり……等)具体的に書いて下さい

()

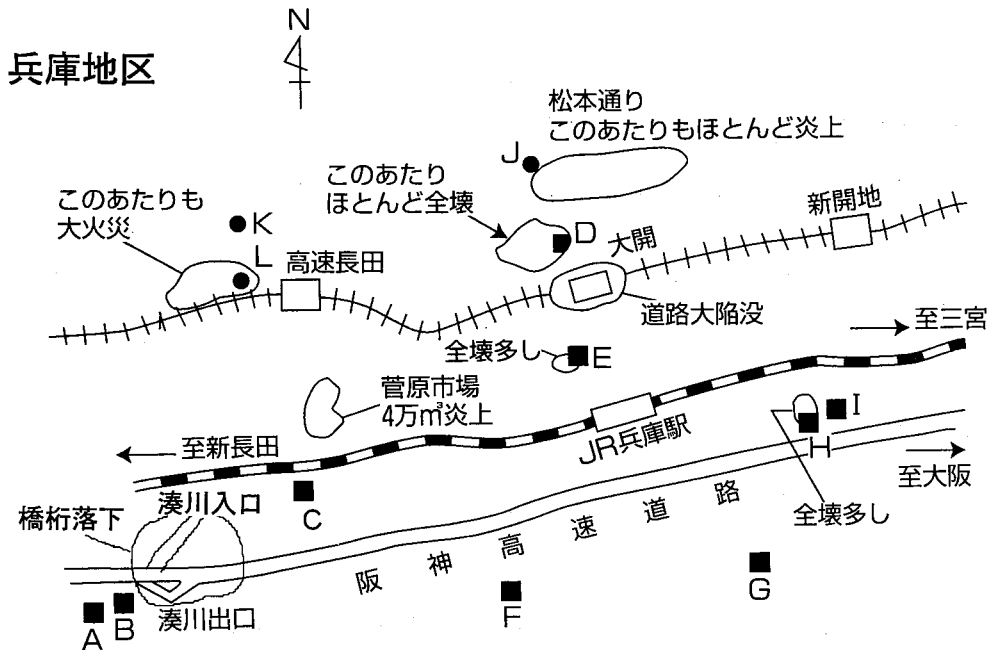
自宅の方の被害

()

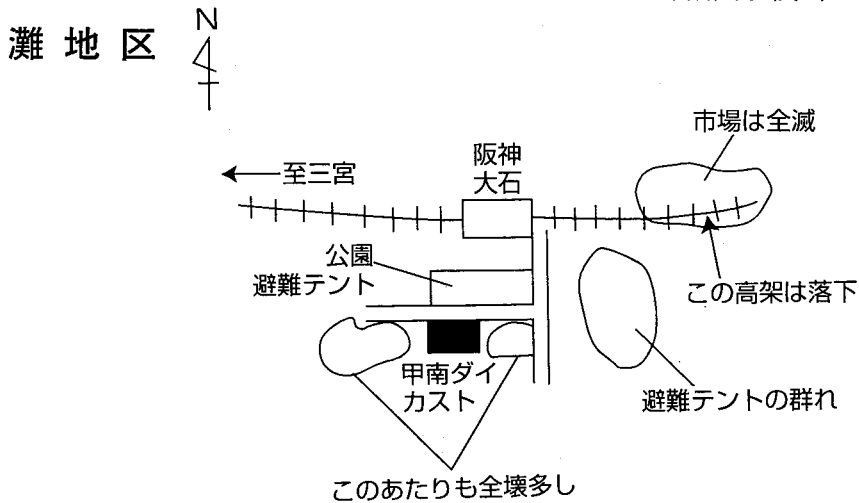
会社名

()

被害の甚大な組合員の位置関係



- A 片島軽金属・倉庫（全壊）
- B 旭洋ダイカスト（株）（全壊）
- C 神港金属（株）（全壊）
- D 半田ダイカスト（株）本社（母屋全壊）
- E 嶋本ダイカスト（株）本社
- F （有）中嶋工作所
- G 伸光ダイカスト（株）兵庫倉庫
- H 摂津ダイカスト（株）本社
- I （株）ダイカスト用材工業所
- J 花野商事（株）社長のお母さんの家（全壊）
- K 中嶋工作所社長の家
- L 摂津ダイカスト社長の息子（娘婿）さんの歯科医院（炎上）



被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

事務所に一部割れ、ヒビが入った程度でした。

機械設備の関係

NC、MCの移動（位置ズレ）

漏電

炉の故障（2基）

ホットチャンバー断線 等がありました。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

ダイカスト関係は2日間操業を停止しました。

NC・MCは1週間ぐらいの後遺症ですみました。

自宅の方の被害

マンションで一部被害がありましたが、大きなものではありません。

自宅も同様です。

会社名

尼崎市次屋3丁目11番19号

有限会社香川ダイカスト工業所

取締役社長 香川 雅彦

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

鉄骨造スレート二階建事務所全壊。隣の鉄骨造スレートのゴム靴工場が大きくもたれかかり、余震がくれば危険な状態にあります。

機械設備の関係

鋳造機、加工設備、金型すべて被害はありませんでした。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

隣の建物がもたれかかり、危険な状態のため操業はできませんでした。
仕事は外注政策に頼るほか、小野市に125トン一台、近所に鉛用の機械を一台移設して、納期対応しました。

まったく突然の災害だったので、どうすることもできないまま今日を迎えているような感じです。社員とともども必死に一生懸命やってきましたが。

また弊社は以前より道路公団の整理区域に該当していたため、工場移転を考えていた矢先の今度の震災でした。

あまりの大きい出来事のため最初は茫然自失。しかし、若いものががんばっているのも、自分もよし、と思いました。会社の若い人たちの前向きのエネルギーを始め、関係取引会社、並びに協同組合からも暖かい激励を賜わり、心より感謝しています。

自宅の方の被害

幸いにして、従業員の被害はなかったのですが、会長の自宅が全壊してしまいました。家のものの無事を確認し、早く会社に行かねばと路地に出ると、家が潰れていて、なかにまだ人が埋まっていた外に出られない、何とか助けて欲しい、と頼まれる。会社のことも心配だったが、何とかしようと、泥だらけになり、潰れた家のなかに入り、何時間かかったか、やっと救出でき、ほっとしたこと。今から思うと、無我夢中で自分が何をしていたかさえ、よくわからないが印象的だった。まわりの家の悲惨な在り様を見て、ほんとにえらい事態になったものだと思います。（田村専務の話）

会社名

旭洋ダイカスト株式会社

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

事務所の壁落下

窓ガラス1枚破損

工場の屋根一部スレートが落下 一部損壊

長田区久保町の倉庫兼社宅は全壊しました。

機械設備の関係

ほとんどありませんでした。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

長田方面から通勤している従業員が出社できなくなったのと、工場のかたづけ、その他配管の点検などで5日間操業が止まりました。

自宅の方の被害

垂水区多聞台

屋根瓦の棟が崩れた

外壁の⅓程度落下

風呂、トイレのタイルひび割れ、半壊でした。

会社名

片島軽金属工業株式会社

〒651-21 神戸市西区北別府4丁目2088

TEL (078) 9 7 4－0 5 9 8

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

鑄造工場の壁（スレート）の一部がはがれました。

金型棚の全壊。

機械設備の関係

保持炉操作盤が金型落下の為こわれた。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

金型落下の為ガスコックがこわれ、ガスを止める事が出来なかったので、
1月17日は半日で操業を中止。1月18日は落下した金型の片付け、金型棚の
撤去等で操業できず。1月18日より平常通りとなった。

自宅の方の被害

特になし。従業員で1人（西宮市）マンション全壊。

会社名

尼崎市浜2丁目20-32

興亜ダイカスト工業株式会社

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

スレート、鉄骨のため、大きな被害はありませんでした。

機械設備の関係

エアー配管がやぶれ、取り替えました。

ガス配管モレ。

金型落下の為、付帯工具がこわれる。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

冷却関係保全のため2日間操業停止しました。

自宅の方の被害

専務の自宅（三木市）の屋根瓦を入れ替えた程度ですみました。

会社名

兵庫県加古郡福美町加古字北新田北1004番地36

株式会社 広栄精機製作所

代表取締役 大井 康 生

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

本社（灘区） 地震の中心であるが、頑丈な10年前の建物は、動いたマシンとか、製品棚で鉄線入りの窓ガラス10カ所くらい割れ、西側一部で壁が3階から1階までヒビが入るくらいで、区役所の判定は23%の損壊とか。

北神工場（北区） 建物は殆ど被害なし。

機械設備の関係

本社 3階：製品棚は総て脚折れ。移動、事務所のコンピューターは3台とも機能は駄目となる。

2階：加工場のタッパー、ボール盤等の数十台殆どが倒れ、使用不能が6台、あとは断線などもあったが一応修理可能でした。

1階：洗浄機のパイプ、継ぎ手多くアウト、MC、NC機は1メートル以上も移動しマシン同士の接触ありで4台とも芯出しをする。

北神工場：鋳造場のダイカストマシン総て移動し、芯出し必要でした。

加工場のMC、NCは大きな移動はないが、ロボローダーが壊れて芯出しだけでなく修理に大分時間がかかった。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

電気 裏から手を廻しても？ 地震から12日目の28日モーター音に感激。

水 断水が3月20日まで続き、その間、毎日3トンの水を貰いに行きポンプアップして洗浄、表面処理に役立てた。勿論、生活用水は後回しと言う事で制限をきびしくして大いに不自由でした。

ガス 更に水より復旧は遅れたが、初めからLPG使用だったので問題なし。

従業員 本社従業員中13家族が全壊、3家族が半壊で半月位は勤務状況悪く、以後の従業員確保が一番心配だったが、幸い移住はあれど全員OK。

自宅の方の被害

東灘区ですが、幸い山手なので少し庭の陥没位でOK。ガラス食器の破損は仕方ないとして、その他の家財はほぼ大丈夫でした。

会社名 甲南ダイカスト工業（株） 伊藤 敬二

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

建物は西区にあったため、ほとんど被害なし。

機械設備の関係

- ★棚に置いていた金型はすべて落下していた。これがもし昼間の就業中のことだったらと思うとゾッとする。
- ★保持炉（3台）すべて位置ズレ。しかし配管等の破損はなかったが溶湯が飛び散っていた。燃料はブタンガスで途切れることはなかった。冷却を水道に依存していたので、（2週間程停止）同業者にポンプを借り、近くを流れる川から取水して操業した。
- ★工場は地震以後2日間は完全に停止した。このことは、あとで大きくこたえることになった。というのは弊社の場合、創業時よりずっと24時間体制を採用していたから。夜勤を停め昼勤のみで約1週間、売上げで800万程度落ち込んだ。
- ★地震発生時、ちょうど夜勤をやっていたので、真っ青になり工場に向かった。従業員の無事な姿を確認できたときの喜びは忘れられない。

自宅の方の被害

全壊 2名
半壊 1名。

会社名

コウベダイカスト株式会社

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

工場建屋、基礎コンクリートのヒビ割れ損壊（12ヵ所）

工場二階のガラス（網入）の割れ（26枚）。

アルミインゴット 3トン積んでいたのが倒れていました。

機械設備の関係

マシニング、その他機械の一部が移動する。

ロッカー等の倒れ。

被害が少なく済みました。ご心配いただき有難うございました。御見舞金ご送金いただきまして有難うございました。

自宅の方の被害

門にヒビ割れ（大屋石）

ブロック外壁が 100メートル程傾く

石燈籠が倒れ、一部欠けていました

会社名

光輪ダイカスト株式会社

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

なし。

機械設備の関係

パイプ切断。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

約一日。

自宅の方の被害

かべのヒビ少々

会社名

三木市別所町下石野相野辰1435—1

小松ダイカスト工業所

小 松 繁 夫

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

本社（兵庫区）周辺の民家に全壊家屋が多く、まるで景色が変わったような感じがする。弊社も激震地にあった為、建物壁面にかなりの亀裂が入った。近くにあった製品倉庫は全壊した。

西神工場は幸いにして、殆ど被害はなかったものの、二階会議室の配管が破裂、大量の水漏れが発生し往生した。

本社の製品、仕掛品置場は、天と地を逆さにしたように散乱、何処から手をつけてよいのか、お手上げの状態であった。

機械設備の関係

★西神工場の走行クレーン2基のうち、ひとつが歪んでしまい使用不能となる。（金型を吊って移動中に地震にあったため）すべての手元炉の溶湯は、振動のため少量だが飛び散り、こぼれていた。温度計の配線などを焦がし、大事には至らなかったが炎がでた。

三階の加工設備の殆どは位置ズレ、倒れていた。（これは本社の加工部門のNC旋盤、マニシングセンターにもいえる。）しかし、総じて機械設備には重大な損害は起こらなかった。

★17日午前5時46分西神工場は24時間体制のため、5名の従業員が作業していました。鋳造機は6台稼働していた。地震直後、いきなり停電（約4時間後通電）現場はまだ日があがらぬ時間だったので真っ暗になる。

揺れがおさまってから、フォークリフトのライトを頼りに作業を開始した。工場長が現場に到着したのが午前6時30分、作業者の無事を確認後、自宅の従業員安否にとりかかった。

溶解燃料は都市ガスで、その日は一日操業を止める。明くる18日から鋳造再開、24時間体制に戻るまで約2週間程費やしてしまった。

★弊社は自動車部品の製造を受注していたので、地震以後の納期管理が大変であった。一時はユーザーによる泊まりこみ支援体制で、徹夜に近い日もあり、在庫、仕掛品の整理、手直しに数週間かかったが、お蔭さまでなんとか乗り切れたように思う。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

なし

自宅の方の被害

全壊	4名
半壊	2名
一部半壊	3名

従業員の被害は以上であった（従業員数50名）社長自宅は殆ど被害はなかった。

会社名 嶋本ダイカスト株式会社

1 / 17午前 5 時46分、そのとき私は

嶋本ダイカスト株式会社 岩 根 稔 宣

たまたま夜勤のときで、仕事をしていました。ゴオーという、海鳴りのような音があったかとおもうと、窓の向こうが急に暗くなり、ほんなら、いきなり下からゴオンと突き上げられ、それからグラグラと狂ったような横ブレ。何や、これ、地震やろか、そうおもたとき、またグラグラと来りました。

すぐ停電ですわ。一緒に仕事してた藤川に「だいじょぶかあ」と声かけ、ふたりで、すぐおもたんは、火事だけは出したらあかん。そうおもて懐中電灯で手元炉を照らしたとき、またグラグラ来よって、ほしたら、炉が目えの前で、こう、上下に揺れてるやんか。ほりゃあ、恐ろしかった。

揺れるんおさまるの待って、また近付く、ほんならまた、揺れる、何回もそんな繰り返しがあったようにおもう。

炎がでとるやないか。これはなんとかせんと、そうおもうんやけど、また揺れるやろ。検査室に待機したり、ここもあかん、更衣室に移ったり、そうこうしとるうちに、揺れもなくなる。しばらく水はでよりましたんで、火はすぐに消せました。

気がついたら炉の向きは全部同じやった。動いとるわけです。えらい、揺れやったんやなあ、おもいました。それに恐かったんは、もし建物がつぶれたら、どないしよう、いうことやった。幸い無事やったけど。

私の場合、家もパーになったんです。全壊いうやつです。社長が家まで送ってくれたんですが、家は駒が林です。そうやな、ふだんなら二十分くらいで行ける距離が、二時間以上かかったやろか、ちょうどこども病院の辺に来たとき、東の方から、ごっつい煙が、黒いやつや、それに臭い、燃えカスみたいなもんも、空から降ってくる。工場出る前、長田の方、大火事やと聞いたし、ああこれはワシの家もあかん。そのとき、そうおもいましたわ。

家に着いたら、長屋やさかい、こう北から南へバタッと倒れてしもとる。ああ。やっぱし、おもいましたわ。嫁はんは下着のまま、逃げとったらしい。わしはそれから、十日程この仕事着のままおりましたんや。それがつらかった。

今は名谷の方に息子とおるんやけど、やっぱし長田の方がなんぼかええおもいます。

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

本社事務所……………壁にヒビ割レが数カ所あり（二階部分のトイレ、階段及び事務所壁面）
西神工場……………壁面一部割れ落ちる（ALC板）
兵庫工場……………瓦全壊
中町工場……………老朽化した屋根が一部破損した程度で、ほとんど被害なし

機械設備の関係

- ★西神工場の加工部門に在る、マニシングセンターのほとんどすべて位置ズレ、一部転倒。4日程生産を止めレベル出し等の修理。
- ★地震直後都市ガスは直ちに止める。17日から一週間ほど、水道の圧力低下のため、鑄造作業は思うように進まなかった。ユーザーがたまたま一部工場企業だったので、ユーザーの復旧がことのほか速く、ついていくためのギャップに可成苦しむことになった。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

- ★被害を受けていない他エリアのユーザーは最初は同情的だったが、これは当たり前だが、すぐ平常の感覚に戻り、納期等の督促をされ、この対応も大変だった。
- ★電話連絡が思うようにいかなかったこと。高度情報化社会と云われているが、このことの経験は以外に大きかった。社員、外注先の安否確認、道路情報収集の危機管理の必要性をあらためて痛切に感じた。
- ★あと細かいことかもしれませんが、機械整備、重量運搬に来られた人の宿泊の手配なども迅速に情報をよくとってやるとよいと思いました。
- ★その後の、物流ですが、これが大問題です。

自宅の方の被害

全壊……………2名
半壊……………4名
その他軽微なもの多数

会社名

伸光ダイカスト株式会社

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

弊社は幸い激震区域から外れていたもので、建物等の被害は、ほとんどありませんでした。それでも、その日夜勤だったので心配になり、あわてて会社に行き、従業員の無事をまず確認してから作業に入りました。

工場内は消火器噴煙のため、真っ白だったのが印象的でした。保持炉が激しく揺れ、飛び散った溶湯によりダイカストマシンの配線が焼け、その消火に夜勤者三人は全力を尽くしたようです。日頃から防災体制を採用し、訓練していたので、危機対応できたと思います。

機械設備の関係

機械の配線が焦げた程度で問題はほとんどありませんでした。弊社は比較的新しい工場でもあり、とくに金型置場など自社独自で工夫していました。だから落下などなく、びくともしていませんでした。また、アルミ材料の倒壊もありませんでした。これも日頃から安全管理を徹底していたからだと思います。弊社は大手四輪メーカーからの受注が多く、そのため日頃から管理面で鍛えられていた、そのことが逆によかったのではと思っています。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

余震に備え、さらに危機管理体制をとり、防火体制の強化をみんなで考えました。金型管理、揺れに対する溶湯管理、さらに日頃からの意識向上、訓練があらためて大切だと思いました。

自宅の方の被害

会社名

真明ダイカスト興業株式会社

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

- 1 F 外壁の破損（特に正面部分）
- 1、2 F の内壁破損
- 1 F のトイレ全壊
- 階段部分の破損
- エアコンの70%破損（特に室外機で修理不可能なものあり）

機械設備の関係

- 致命的な被害は特になかった
- 大きなマシンが移動していた
- ボール盤等、倒れたものがありました。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

明石工場については、ほとんど被害もなく、翌日、後片づけを行い、その後は平常通り操業できた。

本社については、製品・備品等の散乱がひどく、約2週間操業ができず、その後、製品出荷を主体に業務を再開し、その後1週間でフル操業にこぎつけた。（客先の協力で助かった）

自宅の方の被害

- 屋根瓦と、塀の損壊がひどく、どちらもすべて、やり替えとなった。
- 内壁、風呂等一部損壊し、修理が必要。

全壊	3名
全焼	2名
半壊	1名
一部損壊	2名

会社名

摂津ダイカスト（株）

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

正面シャッターが倒れたり、塗装のダクトの一部がはずれたりしていたが、激震地区にあったわりには、損傷の程度は奇跡に近いほど少なかった。それでも修理に百万程度かかった。

機械設備の関係

ダイカストマシンは何もなかった。ボール盤が倒れたり、全自動のドリルマシンの位置がずれていたりした程度ですんだ。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

★溶解燃料はLPガスだったのでとまることはなかった。水は約1か月止まったが、得意先からまわしてもらったり、三木市への納品の帰りを利用して汲んできたり、苦労した。鋳造は担当者の自宅全壊ということもあり、20日程停めた。その間は、外注で凌いだ。

自宅の方の被害

★社員や関係者の自宅の全壊や半壊が多く、自分のことなどいえる余裕はなかった。自宅（長田区上池田町）は当時、かなり揺れ、半壊状態だが、近所に全壊の家が多く、言いようのない気持ちだ。

★地震の前日、たまたま遊びにきていた娘がカレーライスをたくさんつくってくれていた。それをちょうど17日、今日は納品の段取りがあるので、早めに出勤せねばならないと思い、半分寝呆け眼で食べていたときに、地震に襲われた。ワアッと、そのまま、何がなんだかわからないまま、うずくまっていた。

★たぶん会社は建物が老朽化していたので全壊しているだろうなあ、と覚悟しながら会社に急いだ。途中、火に包まれていた菅原商店街で、毛布にくるまり、茫然と立ち尽くす年寄りに何人も出会い、ほんとうにかわいそうだと思った。

★やっと会社が見える距離までたどりついたとき、遠くに自分の会社があったので、これは夢とちゃうやろか、ほんとに頬をつねるような気持ちだった。

会社名

（有）中島工作所

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

明石工場はほとんど被害はありませんでした。ただスレート裏側のワイヤーでたすき掛けにしている個所の四分のボルトはすべて飛んでいました。明石でも、凄い揺れだったなあ、とゾッとしました。

機械設備の関係

保持炉の溶湯飛散により、配線が焼け、そのことにより非常停止状態になり、都市ガス、電気の供給は自動的に停止されていたのがよかったと思います。炉を購入するときに、緊急災害の際、非常停止する電磁弁を四つ付けていたので助かりました。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

■兵庫区の母屋の全壊等もあり、明石工場は4日程操業を停止せざるを得ませんでした。また保持炉の修理点検もあり、復旧には延べで一週間かかりました。それでも得意先の支援もありなんとか軌道に乗せることができました。明石市でしたので、水、ガスの問題はありませんでした。

■母屋、ここは今でも登記簿上の本店でもあり、もともと亡くなった父がこの地でダイカスト業を起こした訳ですが、あの17日、一挙に全壊、妹が頭部に裂傷を負いました。血だらけの妹を抱え、やっと辿りついた神戸西市民病院、ここは病棟西側6階部分が崩れ落ち、5階病室を押し潰し、何ともいえない光景でしたが、そこで何時間待たされたのでしょうか。妹が手術できたのは、夕方でした。歩いて数分の所に、あの焼け落ちた菅原市場があり、あたりは黒煙に包まれ、廊下でじっとしていると、何人も何人もの負傷者が運ばれていました。亡くなられた方もいらっしゃいました。私達は泥だらけで血のこびりついた妹を抱え、まさしく恐怖と不安の時間を過ごしていました。

■そんな訳で、近くの水木小学校に一月の終わりまで避難していました。それから明石のホテル暮らしをし、今は明石工場の応接間に居を移し、家が出来上がるまで頑張ろうと思っています。みなさまには大変お世話になりました。有難う御座いました。

自宅の方の被害

★ 全壊	1名
半壊	2名

会社名

半田ダイカスト工業株式会社

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

全壊の為、神戸市長田区長楽寺5丁目6-12に移転しました。

機械設備の関係

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

自宅の方の被害

全壊（長田区五位の池）のため、平成7年11月中旬より三木市へ移転の予定です。

会社名

機械と工具販売

鵜崎商店

神戸市長田区長楽寺5丁目6-12

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

兵庫県ダイカスト工業組合の事務局でもあった弊社事務所が全壊。その後やむなく西区へ移転する。昭和36年、生田区楠町の大倉山から移り、地元ダイカスト業の発展とともに過ごしてきた三十有余年の星霜に、ピリオドが打たれた。

機械設備の関係

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

■あの日午前七時頃、長田区に大火事発生というラジオニュースを聴き、あわてて垂水区の家を出る。高取山の裏側に来た時、空に暗黒の雲の塊りが漂っていた。ものの焦げる臭い。時折落ちてくる何かの破片。二時間かけやっと長田区に入ったとき、街は劫火に包まれていた。これはまるで戒厳令ではないか。しかしなんと奇妙な静けさに覆われていた。これは映画ではない、現実なのだ、自分の現実なのだときつぶやいていた。

不慮の事故、災害、戦争などの危機的状況、ある極限状況に追い込まれた人のこころは、異常な程の静謐さに覆われているのではないか。毎日毎日通っていた近くの菅原市場は炎上し、何人もの人が茫然と立ちすくんでいた。幼いときからの記憶が古い建物とともに消えうせていった。きな臭い煙のなかに、へしゃげた事務所が、それでも誇らしげに、その最後の雄姿をあらわしていた。その姿を胸にしっかり刻印しようと、振り返り振り返り、何度も凝視していた自分が忘れられない。

■その後数か月、あまりの衝撃のため、自分が組合事務局を仰せつかっているのだという自覚がどこかへ消えていた。そしてそのことをあとで深く恥じることになった。

■ある日、墓参りに須磨寺へ出掛けた。激震のため墓石はズレていた。事務所が壊れたこと、それから右往左往したこと、親父に報告した。末期食道ガンに冒され、痩せさらばえた親父が渾身の力であの建物を支えてくれたと思うと、涙がボロボロとめどなく頬をつたわってきた。

■あの震災で、ほんとうに何もかも失った人ほど、慎ましくやさしかった。敗戦後五十年目にして、私達はほんとうに初めてさまざまなことを学ぶことになったと思う。

自宅の方の被害

全壊	1名
半壊	1名

会社名 神港金属株式会社

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

会社は半壊です。壁にヒビが入り、会社内は物がこわれメチャメチャになりました。

機械設備の関係

機械はこわれたり、ヒビが入ったり、修理しなければ使用できないものが多い。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

メッキ液が各槽で混ざり、使用不可。メッキ液は薬品を使い排水処理を致しました。

自宅の方の被害

社長、会長宅は全壊

従業員宅は全焼 1名

全壊 4名

半壊 5名でした。

会社名

神戸市長田区梅ヶ香町2丁目1番16号

株式会社 神港鍍金工業所

代表取締役 神 農 道 成

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

兵庫区の本社は、一部損壊ですが、ほとんど被害はナシ。

機械設備の関係

工場は稲美町の土山の為、機械に関しては一切被害ナシ。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

自宅の方の被害

自宅は垂水区で一部損壊ですが、住める為、補修しながら生活しており、ほとんど被害はナシ。

会社名

株式会社 ダイカスト用材工業所

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

工場外壁破損

構内道路亀裂 復旧工事費用 4,200,000円

屋内什器破損

機械設備の関係

製造設備は特別な損害はなし。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

屋内在庫品の一部に被害を受けたが、業務には支障なし。

自宅の方の被害

従業員の被害 家屋全壊 4名

 家屋半壊 1名

 一部損壊 10名

社長のお母さんの家（兵庫区会下山） 全壊

会社名

神戸市西区高塚台3丁目2番45

花野商事株式会社

078—99—4451

被災調査表

被害を受けた会社の建物関係

機械設備の関係

転倒、一部損壊。

その他（たとえば断水で操業が止まり……等）具体的に書いて下さい

自宅の方の被害

屋根瓦が全壊

会社名

兵庫県加古郡稲美町蛸草633

ハリマ油販株式会社

電話 0794—95—2303

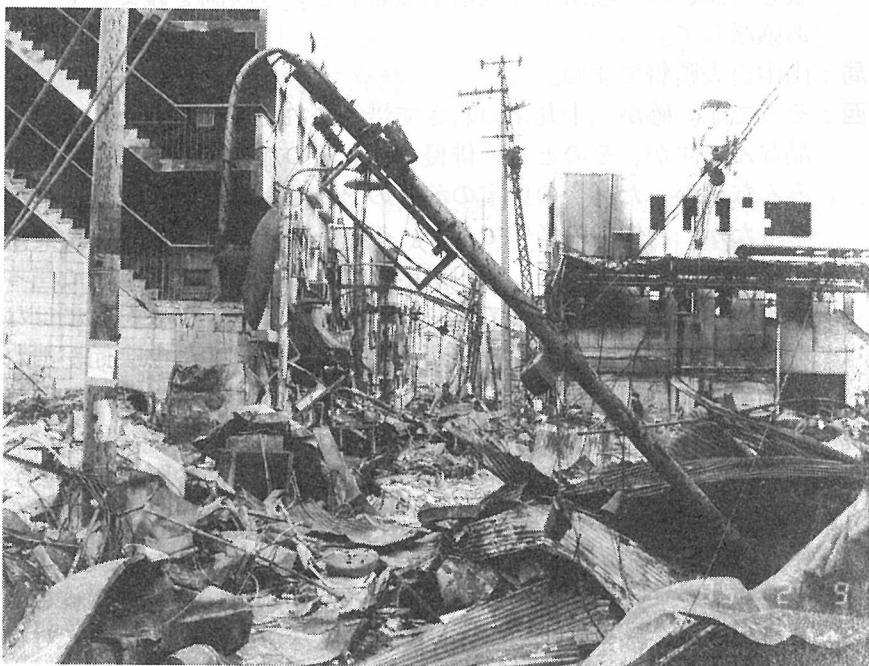
F A X 0794—95—2078



第 3 部

桜も、せつなかったやろ

——震災が投げかけたもの



桜も、せつなかったやろ

——震災が投げかけたもの

事務局：今回の震災ですが、ある限定された地域に激震が襲っていますので、このことは理事長もおっしゃってましたが、極めて不公平な、自然災害はそういうものだといえそうかもしれないが、まったく理不尽なものでした。今日はダイカストということを少し離れて、この震災が私達に投げかけた意味に関し、お伺いしたいと思います。

大 西：うーん、ちょっとわたくしごとですが、最近こんな歌を詠みました。「今いちど確かめたくて思い出は三宮阪急会館崩落の現場」これは地震が起こってまだ間のない頃に出来たものですが、ほかにも同じような歌を何首かつくりました。それで、もう、地震を直接、歌うのはやめにしよう（笑）と考え、次にこんな感じの歌を詠みました。「被災地にさくらさくらは無言にて 花しかばねと散りゆく勿れ」

事務局：わかりますね、神戸に住んで生きてきたものには。建物の崩壊は記憶の崩壊でもあるんですね。とくに「さくら」の歌は、経験がうまく歌になり透明感が醸しだされてよく伝わります。

大 西：私は、ませてまして（笑）十代の頃、よく映画を観に行きましてね。阪急会館、あの場所で「人情紙風船」という映画を観まして。そりゃあ感激して。

事務局：山中貞夫監督ですね。

大 西：そうです。確か二十九才の若さで惜しまれて亡くなった山中貞夫の作品なんです、そのときの俳優、若き日の加東大介、河原崎長十郎、みんな若かった。今の東宝の前身のP. C. Lという配給会社のものやったか、名作中の名作でした。それを観まして、ずいぶん興奮したもんです。十六才の頃、昭和14年です。私は当時、和田岬に在った三菱電機の年季工やったんです。年季工ゆうても、もう君等にはなじみが薄くてわからんかもしれないが。そんな思い出の阪急会館が潰れる。姿を消す。昭和の初年の、当時の若いもん、モダンボーイといわれ。

事務局：モボですね。モダンガールはモガと呼ばれた。

大 西：とにかく、あのあたり一帯はよかった。その中心の阪急会館ゆうたら、そりゃあ、瀟洒な、ハイカラな、神戸を代表する建物で、みんなの憧憬の的やった。私だけでなく、私らの世代ひとりひとりの、ほんまになつかしい建物が地上から永久に消えてしまう。神戸に居るものにとり、まったく見るも無惨な思いやった。だからそんな地震に対する、やり場のない思いを最初は歌っていたと思う。

事務局：解体中、あの映画館の座席が、あらわになり、こう外から、赤い椅子が見えてて、年配の方が、目頭を押さえて佇んでいたのが印象的でし

た。

この「さくら」の方の歌ですが、今もその公園ではテントが残っていますが、桜の時期は、それこそ花見どころではなかったのではないですか。

大 西：四月頃は、まだ、二百四五十人ぐらいたったかな、そんだけの人が仮設住宅にも入れず、その公園に避難していた。八十はテントが在った。だいたい中に三人くらい住んどったから。桜も、せつなかったやろ。普通の年なら公園で花見やから。だから今年はただ単に散って欲しない。ひとつひとつ、いのちをこめて欲しい。祈りいうたら、ええかな。こころを持ったものとして花をとらえていた。そして、散ってゆく花びら一枚一枚に、なんていうか、こう、何かを、こめたかった。

事務局：散華なんて戦争中ありましたが、激震地は何とも辛い花見でした。今年は敗戦後五十年、ダイカストもこの二十年は、高度成長の流れと密着して発展し、まさに豊かな暮らしを、いいか、どうかは別にして、私達もそれなりに獲得してはきました。それが今、行き詰まった。海外移転による製造業空洞化、ダイカストの歴史始まって以来の、まさに激震、大きな構造変化に曝され始めた。どう思われます、今後。

大 西：私の場合、仕事にこう、難題が次々起こり追い掛けまわされていないと、ダイカストは特に油断もすきもならない。息を抜くと、不良、返品、事故。時間との闘い。秒単位なわけです。とにかく四六時中感性を磨いてないとうまくいかない。だから常に情熱をこめ、仕事と歌は異質なんだが、仕事にギラギラかかわっていないといけない。そうすると自ずと心のなかで発酵するものがある。それが私の場合、たまたま歌なんです。年金もらって、閑職になってブラブラという状態では歌はうまれない。

これからのことや、私は悲観はしていません。うまく伝わるかどうか、必ずなんとかなる、大丈夫やと思います。日本は前からそうやったし、長い何千年もの歴史を見てもそう云えると思います。外からの危機を逆にうまく活用し、バネにし、海に囲まれたこの列島でなんとか、けなげな努力で克服してきましたし、これからも必ずそうなると思います。日本の米作りがそうですが。米だけでなく、果物、それに水の豊富さ、質の良さ。魚かて、その種類の多さ、新鮮さ。世界を眺めても、これだけの国はないのと違いますか。私はなんとかいけると確信しています。そりゃあ、そう云えるのも、自分の場合、この震災で被害が僅少であったからかもしれませんが。マイナス要因ばかりが、あまりにも多すぎ、ヘレンケラー以上の状態かもしれない。今後は。ダイカストの将来は。だけど何とか日々の創意工夫で、知恵を出しあい、切磋琢磨していけば必ず乗り切っていけると信じて疑いません。

事務局：なんかこう、スケールの大きな楽観論で、少し難解ですが、だけど不

思議と勇気づけられます。お忙しい所、どうも有難う御座居ました。

* * *

註：これは1995年8月17日、摂津ダイカスト（株）代表取締役大西久雄氏にインタビューしたものです。大西氏は「自分は被害が僅少」とおっしゃっておられますが、実際は本社は全壊の罹災証明があったそうです。「桜も、せつなかったやろ」氏の口もとからこの言葉がつぶやかれたとき、この一月、鷹取市場西側の公園で、炎に炙られ真っ黒になった樹木の肌をいとおしくさすっていた記憶が蘇りました。

編集室より

この一月、淡路島南部、阪神間を突如襲った自然災害の持つ意味に関し、すでに各方面から詳細なレポートが出ている。それらは、行政はいうまでもなく、建築、都市工学、医療、心理学、教育、報道の業界、さらに各民間ボランティア団体からなる、さまざまに異なった視点からの記録である。私達ダイカストの業界に携わるものにとっても、この度の震災が投げかけた重みは、日を追うごとに増しているように思われてならない。

日本人はとかく忘れやすい、と批評されることが多いが、そのことを長所として言われることは少ないのではないのか。月日経ち、以前の生活感覚が、それなりに回復するにつれ、私達はあの毎日毎日ほんとうに必死で頑張った日々の記憶がなぜか遠いものとして、薄らいでいるのに気づくときがある。ある意味でそれは、自然の成り行きで仕方のないことかもしれないが、果してそれでほんとうによいのであろうか、そう問い返す気持ちも、どこかに隠れているのではないのか。

私達が忘れてはならないもの。この震災を知らないで育つであろう次の世代の人々まで、なんとか伝えたい、届けたい、私達のささやかな経験というものはなんなのか、そう思ったとき、この資料を作らねば、とふるいたった。

全国と同業者の注目のなか、あの日、あの時、私達兵庫のダイカスト及び、その関連の人々は、それぞれが懸命に生き抜く日々を経験した。当時はただただ無我夢中であっただけだ、理屈より先ず行為が先行していた、というのが正確なところだろうが、意味はあとから遅れてやってきた。闇雲の行動に疲れが見え、一時的な同情とか感情での行為に限界があらわれたとき、息災にまずは生き残った私達自身のこころの在り方が、問われ始めた。

1月17日以降、さまざまな出会いを経験することになった。自分の経済的問題だけを追い求めることの、どういったらいいのか、虚しさのようなものに私達はやっと気づくようになったのではないか。もちろん、自分のことは人に頼らず自分の力で着実にこなしていく、というのは鉄則で、そのことを推し進めること自体、極めて困難な状況下に私達はおかれてしまった。しかし、全壊した自分の家の家具什器を「かまへん、なんでも持って行って」と焼け出され身ひとつになって逃げる人たちに声をかけ、あとで気づけば自分達の履く靴がなかった、と笑顔で語れる人が何人もいたことを私達は忘れることができない。

忘れていったいいものと、忘れてならぬこと。その違いは何なのか。いったい違いなどあるのだろうか。そんな難しいこと考えないで、淡々と与えられた日々頑張ればよいではないか。確かにそうなのだが、あのときのバブル景気がいい例だが、喉元過ぎれば熱さを忘るで、人はどうしても易きに流されやすい。だがそんな折、まさに「天災は忘れた頃にやって来る」明治の物理学者であり、しかも文学者であった寺田寅彦のこの言葉が、鋭い警鐘をうち鳴らしながら私達の胸のなかでふるえている。(季村敏夫)

平成7年1月17日
阪神大震災被災調査報告書

発行日 平成7年12月1日

発行所 〒651-21

神戸市西区大津和3丁目3-7

兵庫県ダイカスト工業協同組合

TEL (078)974-5098

